



とべ動物園の動物たちの愛らしい姿を盛り込んだ日めくりカレンダーと、製作した松山大経営学部生

生き物癒やし 毎日めくって

動物たちのかわいらしい姿を見て心を癒やしてもらおうと、松山大経営学部の学生らが県立とべ動物園（砥部町上原町）の動物写真を盛り込んだ卓上日めくりカレンダーを製作した。同大生協などで販売している。

企画・製作に携わったのは、ストレス社会の人間関係の研究する作田良三教授と教育社会学Ⅱのゼミの3年生19人。来場者が減少傾向の回園を盛り上げ地域活性化につなげようと、カレンダー商品化に取り組んだ。横置きA5サイズの31日約500枚の中から厳選

分で、コンセプトは「癒やしの空間」。写真は1日表裏2枚で、ホッキョクグマの「ピース」をはじめ、ホ

ワイトタイガー、ライオンなど約40種類の動物のあくびや昼寝、食事、親子でじゃれ合う姿など62枚で構成する。大半は学生が撮影し、

とべ動物園で撮影 販売も

動物ごとにキャッチフレーズを盛り込み、子どもに楽しんでもらおうと塗り絵やメッセージを書き込むスペースもつくった。

販売前の19日、松山市道後通又の同大通又キャンパスで、ゼミ生らが完成報告とPRを実施。写真を撮影した永田中央さん(21)は「子どもから大人まで手に取り、笑顔や元気につなげてほしい」。学生に協力したとべ動物園教育普及課の宮内敬介担当課長(54)は「大学との連携で動物に興味を持ってもらう取り組みができ、社会教育施設としての動物園の存在意義を強調するきっかけになる」と語った。

価格は972円。22日からとべ動物園売店でも販売する。(菅亮輔)